

上場子会社のガバナンスに関する当社方針

独立性の確保とシナジー創出の両立

当社における上場子会社の保有意義は、知名度、信用力及び当社からの独立性に基づく取引先の拡大や、当社と上場子会社間をはじめとするグループ内シナジーの拡大等が挙げられます。

一方、昨今の親子上場に対する株主や機関投資家等の関心の高まり等を踏まえ、当社は、各上場子会社における一般株主の利益を適切に保護することが当該上場子会社の企業価値向上に繋がるという考え方にに基づき、2019年10月に以下の方針を公表しています。

- 1 当社は、当社グループに上場子会社が存在する場合において、当該上場子会社の独立性を尊重し、かつ、株主平等の原則から反するような行為は行いません。
- 2 特に、当社と当該上場子会社の一般株主との間に利益相反リスクがあることを踏まえ、当該上場子会社としての独立した意思決定を担保するために、当該上場子会社に対して、独立社外取締役を有効に活用した実効的なガバナンス体制の構築を促します。
- 3 当社は、当社グループにおける上場子会社につき、上場子会社として維持することの合理的理由及び当該上場子会社のガバナンス体制の実効性につき説明責任を果たしていきます。

上場子会社のガバナンス体制構築状況

当社は、上場子会社に対して、①独立社外取締役を取締役総数の3分の1以上とすること、②独立性のある取締役会諮問委員会を設置すること、③独立社外監査役を監査役総数の半数以上とすることを要請しており、以下の上場子会社において概ね当該要請に沿った形でのガバナンス体制が構築されています。

(2020年7月1日現在)

カンパニー	会社名	①独立社外取締役割合			②取締役会諮問委員会設置状況	③独立社外監査役割合
		社内取締役	社外取締役			
エネルギー・化学品	伊藤忠エネクス(株)	5名 	3名 	38% (3名/8名) 	・ガバナンス委員会	50% (2名/4名) 
	タキロンシーアイ(株)	5名 	3名 	38% (3名/8名) 	・指名・報酬委員会	50% (2名/4名) 
食料	伊藤忠食品(株)	6名 	3名 	33% (3名/9名) 	・ガバナンス委員会	50% (2名/4名) 
	プリマハム(株)	3名 	2名 	40% (2名/5名) 	・経営諮問委員会	33% (1名/3名) 
情報・金融	伊藤忠テクノソリューションズ(株)	4名 	2名 	33% (2名/6名) 	・指名委員会 ・報酬委員会 ・ガバナンス委員会	50% (2名/4名) 
	コネクシオ(株)	5名 	3名 	38% (3名/8名) 	・指名・報酬委員会 ・ガバナンス委員会	50% (2名/4名) 
第8	(株)ファミリーマート*	8名 	4名 	33% (4名/12名) 	・報酬委員会	50% (2名/4名) 

* 当社グループは、(株)ファミリーマートの非公開化を目的とした公開買付けを2020年7月8日に公表しています。

